

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 10 月 20 日 (2005.10.20)

【公開番号】特開 2003-157232 (P2003-157232A)

【公開日】平成 15 年 5 月 30 日 (2003.5.30)

【出願番号】特願 2002-180546 (P2002-180546)

【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 15/00

【 F I 】

G 0 6 F 15/00 3 1 0 M

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 6 月 15 日 (2005.6.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電子メッセージの機能を強化するための方法であって、
電子メッセージを受信するステップと、
前記電子メッセージからコマンド命令を取得するステップと、
前記コマンド命令に応答して機能を実行するステップとを含む方法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の方法において、前記コマンド命令が前記機能を実行するためのアプリケーション・プロバイダを示す方法。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の方法において、前記機能を実行するステップが、
前記コマンド命令からアプリケーション・プロバイダを決定するステップと、
前記機能を実行するために前記アプリケーション・プロバイダに R e q u e s t (要求) を送信するステップとを含む方法。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の方法において、
前記コマンド命令に基づいて前記 R e q u e s t を作成するステップを含む方法。

【請求項 5】

請求項 3 に記載の方法において、前記アプリケーション・プロバイダから R e s p o n s e (応答) を受信するステップと、
前記 R e s p o n s e の受信に応答して前記メッセージを変更するステップとをさらに含む方法。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の方法において、
前記変更されたメッセージを宛先に送信するステップをさらに含む方法。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の方法において、
前記コマンド命令が、
前記機能を実行するためのアプリケーション・プロバイダを示すホストおよびファイルと、
前記アプリケーション・プロバイダに配信される情報を示す少なくとも 1 つのパラメー

タとを含む方法。

【請求項 8】

請求項 1 に記載の方法において、

前記コマンド命令が受信されたメッセージ内にインターネットのショートカット・ファイルとして含まれる方法。

【請求項 9】

R e q u e s t の受信に応答して機能を提供するための装置であって、

プロセッサと、

R e q u e s t を受信し、

前記 R e q u e s t 内に含まれている命令に応答して機能を実行し、

前記機能の実行に続いて R e s p o n s e を作成するために、

前記装置をプログラムするためのプロセッサ可読プログラム・コードを含む、前記プロセッサと通信するプロセッサ可読記憶媒体とを備える装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

【課題を解決するための手段】

大ざっぱに言うと、本発明の 1 つの態様は、電子メッセージの機能を強化するための方法を含む。該方法は、電子メッセージを受信するステップと、その電子メッセージからコマンド命令を取得するステップと、前記コマンド命令に応答して機能を実行するステップとを含む。